

アットホームが2013年2月7日に「一人暮らしの実情と部屋探しについて」のアンケート結果の最新版を公表した。賃料、間取り、設備など多くの項目を男女別に分析した。同調査は18歳〜29歳の学生・社会人の単身者800名を対象に行われた。今回の分析

## データで読む

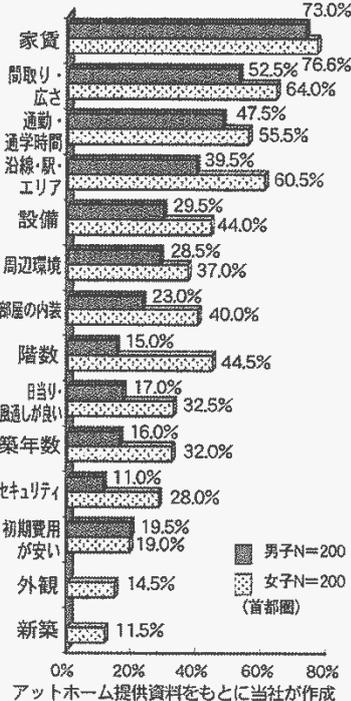
「女性客から需要のある物件は、大抵男性客からも需要がある」という文句は、今や業界の定番となっている。一人暮らしの学生・社会人の男女を対象に行われたアンケート結果でも、その傾向は顕著にあらわれた。しかし、同じ女性でも、学生と社会人では求める要素にズレがあるようだ。その内訳はいかに…?

## 8割が「初期費用を重視せず」

グラフを見比べると、低賃料志向が強いことがわかる。家賃を重視したと答えた学生は、

「現在の住まいを探した際に重視したこととは？」。学生・社会人の住まい事情を男女別に見ていく。

### 社会人が重視した要素



また、女子学生に関しては、「通学時間」が6割弱の男子学生と比べて、社会人男性は1割減。答えた社会人女性はその5割程度にとどまった。それよりも「間取り・広さ」、「沿線・駅・エリア」を重視する傾向があり、6割の社会人女性が勤務先から多少遠くても快適な空間を望んでいることがこのデータから見てわかる。男性も同じく、「通勤時間」が6割弱の男子学生と比べて、社会人女性よりも女子学生のほうが安全面を気にする傾向が顕著に表れた。

社会人は2割を下回った。また、女子学生に関しては、「通学時間」が6割弱の男子学生と比べて、社会人男性は1割減。答えた社会人女性はその5割程度にとどまった。それよりも「間取り・広さ」、「沿線・駅・エリア」を重視する傾向があり、6割の社会人女性が勤務先から多少遠くても快適な空間を望んでいることがこのデータから見てわかる。男性も同じく、「通勤時間」が6割弱の男子学生と比べて、社会人女性よりも女子学生のほうが安全面を気にする傾向が顕著に表れた。

## 『全国賃貸住宅新聞』 2013年2月25日掲載 ～お部屋探しの重視要素～

左上：学生のお部屋探しの重視点は、弊社カウンターでもよく聞かれた内容となっています。月々の支払額(賃料)や通学距離は年々シビアになってきました。一方、「駅近く」など立地的な条件は、変えようがありません。

右上の新聞記事にもありますが、  
**女性にヒットすれば、男性はついてきます。**  
**まず「女性が何を望んでいるか」を押さえましょう！**



お問合せ先 TEL: 0800-100-3215 担当: 高橋